

平成24年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	建設部	課等名	下水道課	記入者名	新垣 裕勝	内線	408	
事務事業名	水洗化普及促進事業		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	豊かな緑ときれいな水を未来に引き継ぐまちづくり						
	施策	下水道等の整備・生活排水処理対策の推進						
	細施策	水洗化の普及向上						
根拠法令・条例、関連計画等		出水市水洗化等改造補助金交付要綱						
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
排水費（水洗化等改造補助金）				8	2	1	2	1
排水費（水洗化等改造補助金）				9	2	1	2	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

合併前の旧高尾野町において、平成12年度から水洗化率の向上を目指して実施された制度で、合併後は出水市全域を対象として引き続き水洗化率の向上を目的として実施中である。
平成23年度末における整備率は、公共93.8%・特環92.5%・農集100%で、面整備については農集は終了しており、公共と特環においても平成25年度でほぼ整備が終了する予定であり、更に水洗化の普及向上を図る必要がある。

3 事務事業の概要

H23年度の事業概要	H24年度の事業概要・計画	H25年度の事業計画	H26年度の事業計画
水洗化補助金（下水道接続者へ補助金交付）汲み取り便所：供用開始から1年以内50,000円、1~2年以内30,000円、2~3年以内10,000円 浄化槽：1年以内のみ20,000円 ※実績 公共：50,000円 2基、30,000円 1基、20,000円 3基 特環：50,000円 37基、30,000円 1基、20,000円 77基	水洗化補助金 公共 7基 110千円 特環 109基 3,550千円	水洗化補助金 公共 10基 150千円 特環 120基 3,850千円	水洗化補助金 公共 10基 150千円 特環 120基 3,850千円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
下水道等区域内の未水洗化世帯	供用開始前の地区説明会による制度の概要説明。 供用開始後3年目となる未水洗化世帯への啓発活動。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
下水道関連事業の実施地域における水洗化率を最終的には95%以上に引き上げ、水質保全に努めることにより快適な生活環境を創造する。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 整備率（公共） 整備面積／計画区域面積	%	93.8	94.0	94.5	94.8	40	100
	② 整備率（特環） 整備面積／計画区域面積	%	92.5	95.1	97.6	98.1	40	100
成果指標	① 水洗化率（公共） 水洗化人口／整備区域人口	%	89.3	90.0	91.0	92.0	40	95
	② 水洗化率（特環） 水洗化人口／整備区域人口	%	75.1	80.0	82.0	84.0	40	95

※ 活動指標…事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 現制度は供用開始後3年以内の限定した制度であるため、下水道の整備がほぼ完了する平成25年度から3年後以降（平成29年度以降）については、水洗化推進のための新たな制度の創設等を検討する必要がある。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
	理由 現在の水洗化率の向上が鈍化するものと予測される。	
有効性	<input type="checkbox"/> ない	
	理由 現在までの実施済世帯との関連もあるため、コスト（申請時期別補助金額）の削減は、整備完了までは困難と思われる。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか （成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 現在までの実施済世帯との関連もあるため、コスト（申請時期別補助金額）の削減は、整備完了までは困難と思われる。
効率性	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ない	
	理由 類似事業は無し。	
効率性	<input type="checkbox"/> ある	
	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> はい	
	理由 その目的が水洗化の促進であるため設定金額の評価はなじまないが、概ね水洗化工事の1割程度であり、妥当と考える。	
その他	<input type="checkbox"/> いいえ	
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
その他	・年数等に応じた定額補助：鹿児島市、鹿屋市、いちき串木野市、奄美市 ・事業費に対する一定割合補助（限度額あり）：曾於市、南九州市 ・融資あっせん：鹿児島市、奄美市 ・融資あっせんのみ：枕崎市、指宿市、薩摩川内市、日置市、霧島市	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	下水道の整備終了年度である平成25年度から3年後の平成28年度までは現行制度を継続し、その後は水洗化の状況などを勘案しながら現行制度の見直しを検討する必要がある。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	水洗化の普及向上を図り、快適な生活環境を創造するため継続とする。なお、補助金額等については、全体的な補助金見直しの際に検討する。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。